

2021 年第 4 四半期および 2021 年通期決算（日本語抄訳）

プレスリリース

パリ、2022 年 2 月 10 日

2021 年通期のグループ当期純利益は過去最高を記録

基礎収益は前年比 **16.1%増⁽¹⁾ (17.2%増^{(1)*})** と大幅に増加。ファイナンス&アドバイザー事業と金融サービス事業が過去最高水準の活況を呈したほか、グローバルマーケット事業は年度を通して極めて好調、リテールバンキング事業も健全なモメンタムで推移

基礎営業総利益は **85 億ユーロ⁽¹⁾**と前年比で **51.0%⁽¹⁾増加**。経費は **4.3%増⁽¹⁾**に抑制され、正のジョーズ効果（収益の伸びが経費の伸びを大幅に上回る）を確認

リスク費用は引き続き低水準で **13 ベーシスポイント**

グループの基礎当期純利益は **53 億ユーロ⁽¹⁾（報告ベースでは 56 億ユーロ）**

基礎利益率（ROTE）は **10.2%⁽¹⁾（報告ベースでは 11.7%）**

2021 年第 4 四半期の基礎営業総利益は 19 億ユーロ⁽¹⁾（前年同期比24.1%増）

2021 年第 4 四半期のグループ基礎当期純利益は 12 億ユーロ⁽¹⁾（前年同期比 94.4%増、報告ベースでは 18 億ユーロ）

2021 年第 4 四半期の基礎利益率（ROTE）は 9.2%⁽¹⁾（報告ベースでは 16.6%）

魅力的な株主還元

1 株当たり 2.75 ユーロ相当の分配。内訳は以下の通り：

- **1 株当たり 1.65 ユーロ**の現金配当を年次株主総会に提案
- **1 株当たり 1.1 ユーロ相当**の自社株買い計画（総額 9 億 1,500 万ユーロ）

普通株式等 **Tier 1 比率 13.7%⁽²⁾（2021 年末時点）**は規制要件を **470 ベーシスポイント**上回る健全な水準

戦略事業計画を加速

モビリティ分野での競争力強化の一環として、**ALD**によるリースプラン（**LeasePlan**）の買収計画を発表、モビリティ分野において主導的プレゼンスを目指す

ブルソラマ（Boursorama）の新規顧客獲得は計画より **1 年前倒し**で進展、フランス国内の **ING** グループ顧客に最良の代替的バンキング・ソリューションを提供するため、同グループと独占交渉の開始を発表
合併協議に向けフランス国内のリテールバンキングネットワークは良好なモメンタムを維持

国際リテールバンキング事業のデジタル化と業務効率改善を継続

グローバルマーケット事業の業績は年間を通じて堅調に推移、ストラクチャード商品の再編とリスクプロファイルの向上

ファイナンス&アドバイザー事業は過去最高の業績を達成、好調な市場モメンタムと資本配分の引き上げがけん引

⁽¹⁾ 基礎データ（会計データから基礎データへの移行については、英文資料の 10. APPENDIX 2: METHODOLOGY の第 5 項を参照）

⁽²⁾ 分配準備金控除後の段階的適用の比率（全面適用の比率は 13.6%）

本書における注記号*はグループ編成の変更および為替レートの変動による影響の修正再表示後の数値を示す。

当グループの最高経営責任者であるフレデリック・ウデアは次のように述べています：

「2021年はソシエテ・ジェネラル・グループにとって節目の年となり、過去最高の業績を達成しました。優れた収益性と株主の皆さまへの魅力的なリターンを実現することができ、全事業部門がこの卓越した業績に貢献しています。また、非常に質の高いローンポートフォリオと高い自己資本比率を有し、年度末におけるバランスシートは極めて堅固です。さらに、第一に、ソシエテ・ジェネラルとクレディデュノールの2つのリテールバンキングネットワークの統合などの重要プロジェクトを順調に推進し、第二に、ALDによるリースプランの買収とフランス国内のリテールバンキング事業に関するINGとの独占交渉の開始により、他社と一線を画す2つの資産を強化する2件の戦略的取引を実現しました。これにより当グループは、高い企業価値を創出する戦略的事業計画を規律正しく実行し、ESGと新しいテクノロジーに係る変革を加速させることによって、戦略的事業計画の大枠を完了させることを最優先目標として、自信をもって2022年に臨んでいます。」

グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	2021年	2020年	増減		2021年	2020年	増減	
	第4四半期	第4四半期						
銀行業務純利益	6,620	5,838	+13.4%	+11.7%*	25,798	22,113	+16.7%	+17.7%*
銀行業務基礎純利益 ⁽¹⁾	6,503	5,838	+11.4%	+9.8%*	25,681	22,113	+4.3%	+17.2%*
営業費用	(4,565)	(4,351)	+4.9%	+3.6%*	(17,590)	(16,714)	+5.2%	+5.8%*
基礎営業費用 ⁽¹⁾	(4,617)	(4,318)	+6.9%	+5.6%*	(17,211)	(16,504)	+4.3%	+4.9%*
営業総利益	2,055	1,487	+38.2%	+35.3%*	8,208	5,399	+52.0%	+55.1%*
基礎営業総利益 ⁽¹⁾	1,886	1,520	+24.1%	+21.4%*	8,470	5,609	+51.0%	+53.9%*
純リスク費用	(86)	(689)	-87.5%	-87.7%*	(700)	(3,306)	-78.8%	-78.6%*
営業利益	1,969	798	x 2.5	x 2.4	7,508	2,093	x 3.6	x 3.7*
基礎営業利益 ⁽¹⁾	1,800	851	x 2.1	x 2.1	7,770	2,323	x 3.3	x 3.4*
その他の資産からの純損益	449	(94)	n/s	n/s	635	(12)	n/s	n/s*
のれんの減損損失	(114)	0	n/s	n/s	(114)	(684)	n/s	n/s
法人所得税	(311)	(125)	x 2.5	x 2.4	(1,697)	(1,204)	+41.0%	+43.2%*
当期純利益	1,995	582	x 3.4	x 3.3	6,338	196	x 32.3	x 43.8
うち非支配持分	208	112	+85.7%	+81.2%*	697	454	+53.5%	+53.6%*
グループ報告当期純利益	1,787	470	x 3.8	x 3.7	5,641	(258)	n/s	n/s
グループ基礎当期純利益 ⁽¹⁾	1,226	631	+94.4%	+90.4%*	5,264	1,435	x 3.7	x 3.8*
ROE	12.1%	2.4%			9.6%	-1.7%		
ROTE	16.6%	2.7%			11.7%	-0.4%		
基礎ROTE ⁽¹⁾	9.2%	4.1%			10.2%	1.7%		

(1) 特別項目およびIFRIC第21号による影響の線形化の修正再表示後

2022年2月9日に開催されたロレンツォ・ビーニ・スマギを議長とするソシエテ・ジェネラルの取締役会において、ソシエテ・ジェネラル・グループの2021年第4四半期決算および2021年通期決算が精査された。

基礎データから公表データへの移行に伴う様々な修正再表示については、英文資料の10. APPENDIX 2: METHODOLOGYの第5項を参照のこと。

連結貸借対照表

資産の部 (単位：百万ユーロ)	2021年12月31日	2020年12月31日
現金および中央銀行預け金	179,969	168,179
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産*	342,714	411,916
ヘッジ目的デリバティブ	13,239	20,667
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	43,450	52,060
償却原価で測定する有価証券	19,371	15,635
償却原価で測定する銀行預け金	55,972	53,380
償却原価で測定する顧客貸出金	497,164	448,761
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	131	378
保険事業の投資	178,898	166,854
税金資産*	4,812	4,995
その他の資産	92,898	67,341
売却目的保有非流動資産	27	6
持分法適用投資	95	100
有形および無形固定資産	31,968	30,088
のれん	3,741	4,044
合計*	1,464,449	1,444,404
負債の部 (単位：百万ユーロ)	2021年12月31日	2020年12月31日
中央銀行預り金	5,152	1,489
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債*	307,563	372,705
ヘッジ目的デリバティブ	10,425	12,461
発行債券	135,324	138,957
銀行預り金	139,177	135,571
顧客預金	509,133	456,059
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	2,832	7,696
税金負債*	1,577	1,227
その他の負債	106,305	84,937
売却目的保有非流動負債	1	-
保険契約関連負債	155,288	146,126
引当金*	4,850	4,732
劣後債務	15,959	15,432
負債合計*	1,393,586	1,377,392
株主資本		
株主資本、グループ持分		
発行済普通株式および資本準備金	21,913	22,333
その他の資本性金融商品	7,534	9,295
利益剰余金*	30,631	32,102
純利益	5,641	(258)
小計*	65,719	63,472
未実現・繰延キャピタル損益	(652)	(1,762)
資本、グループ持分小計*	65,067	61,710
非支配持分*	5,796	5,302
株主資本合計*	70,863	67,012
合計*	1,464,449	1,444,404

(*) 2020年に発表された財務諸表から修正再表示された金額（財務諸表の注1.7参照）。

ソシエテ・ジェネラル

ソシエテ・ジェネラルは欧州最大級の金融サービスグループです。多角的かつ総合的なバンキングモデルを採用し、強固な財務基盤とイノベーションにおける高い専門性を活かして、持続可能な成長を目標とする経営戦略を実行しています。ソシエテ・ジェネラルは、世界の地域社会と経済に有益な変化をもたらすことに尽力しており、責任ある革新的な金融ソリューションを通じて、日々お客さまとともにより良い持続可能な未来を築くことを目指しています。

ソシエテ・ジェネラルは、確固たる地位を築いている欧州を拠点に世界に広がるネットワークを通じて 150 年以上にわたり世界経済において重要な役割を果たしています。世界 61 カ国の拠点に 13 万 3,000 人を超える従業員を擁し、3,000 万の個人、法人、機関投資家のお客さまに様々なアドバイザリー・サービスと顧客ニーズに合わせた金融ソリューションを提供しています。当グループは、以下 3 つの主力業務部門から構成されています。

- ・ フランス国内リテールバンキング部門：ソシエテ・ジェネラルの支店網とクレディ デュ ノール、ブルソラマのブランド名で、最先端のデジタル技術を駆使した総合的な金融サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。
- ・ 国際リテールバンキング & 金融サービス部門：新興国および専門性の高い主要金融ビジネスにおいて主導的地位を築いています。
- ・ グローバルバンキング & インベスターソリューションズ部門：定評ある高い専門性、統合型ソリューションを主要な市場で提供しています。

ソシエテ・ジェネラルは、社会的責任投資指数の代表格である次の指数の構成銘柄です。ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（欧州）、FTSE4Good（世界および欧州）、ブルームバーグ男女平等指数、リフィニティブ・ダイバーシティ&インクルージョン・インデックス、Euronext Vigeo（欧州およびユーロ圏）、ストックス・グローバル・ESG・リーダーズ・インデックス、MSCI 低炭素リーダーズ指数（世界および欧州）。

本プレスリリースの信頼性に疑義がある場合には、[societegenerale.com](https://www.societegenerale.com) のニュースルームのページの最下部をご覧ください。ソシエテ・ジェネラルが送信したプレスリリースは、ブロックチェーン技術により認証可能です。リンクにより文書の正当性をウェブページ上で確認することができます。

詳しくは当グループのウェブサイト www.societegenerale.com またはツイッター [@societegenerale](https://twitter.com/societegenerale) をご覧ください。
